

【別紙2】WG活動の再編案

R 4 年度 (計 13 WG)	令和4年度の成果	今後の展開	R 5 年度 (計 9 WG)
①行政手続オンライン化WG	<ul style="list-style-type: none"> 優先手続のオンライン化（子育て・介護等27手続）実績：24手続でオンライン化見込 モデルケースの作成（補助金業務、キャッシュレス等） 	<ul style="list-style-type: none"> 実践で見えてきた課題（例：本人確認の認証レベルに応じた事務の棚卸し、関連規則の改正、公印省略等）を検討するためWGの役割を変更 実践の横展開はBPR推進WGで対応（類似する手続を複数所属で検討、モデルケース庁内展開、ツールの使用方法庁内展開） 	①制度デジタル化WG
②マイナンバーカード普及・活用WG	<ul style="list-style-type: none"> マイナンバーカード交付率 26%上昇 R5.3末 交付率70.58%（申請率80.05%） R4.3末 交付率44.59% 出張申請の実施 470件、7,791人（R4.5.17～R4.3.18） 各種証明書のコンビニ交付手数料減額（R5.4月～100円） など 	<ul style="list-style-type: none"> 未申請者（約20%）へのアプローチ 利活用策の検討と市民への利活用方法の周知 保険証の一体化（令和6年秋）を見据えた検討 マイナンバーカード窓口業務内容の変化（申請促進から電子証明書の更新・暗証番号の再設定等に比重がシフト） 	②マイナンバーカード活用・普及WG
③財務・文書システムWG	<ul style="list-style-type: none"> 文書管理システムは構築完了（R5.4-稼働） 財務会計システムは機能要件整理を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 財務会計システムの先行稼働（R5.9-予算編成、R6.1-業者管理・契約管理等）及び本稼働（R6.4-予算執行） システム構築は通常業務として対応し、今後はBPR推進WGで文書管理システム及び財務会計システムを含めた内部事務のフルデジタル化を検討 	
④コアネットワーク（外で働く）WG	<ul style="list-style-type: none"> 以下の観点でChromebookを試行 ①操作感、②office365利用、③新しい働き方の模索（各部署のユースケースを担当） 	<ul style="list-style-type: none"> コアネットワークが本格稼働したため（R5.4-）、今後はBPR推進WGにおいて、ユースケースを検討・実践する。また、制度面の課題は内部統制DX推進WGで解消を図る。 	
⑤BPR（RPA）推進WG	<ul style="list-style-type: none"> 全ての所属が自主的・自律的にBPRができる環境を構築するため、以下を実施（RPAの導入、Excel活用マニュアルの作成、BPR全庁展開） 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての所属が参画するWG活動の拡充 業務の流れを可視化したうえで、有効なデジタルツールの活用を検討 	③BPR推進WG
⑥ABW（新議会棟）WG	<ul style="list-style-type: none"> 先進地視察（R4.7、デジタル庁） 新議会棟各移転対象課で、それぞれの所属業務に適したレイアウトを検討 	<ul style="list-style-type: none"> 新議会棟移転課での検討結果を踏まえ、本庁フロアへ展開するための提案をミライズWGが実施。今後は、ミライズWGにおいて検討・実践。 	
⑦窓口WG	<ul style="list-style-type: none"> 本庁と出先機関との間のコミュニケーション実証を予定したが、実証用機器材等の確保が困難であったため見送った 	<ul style="list-style-type: none"> コアネットワークが本稼働（R5.4-）したことから、BPR推進WGやミライズWGにおいて、実際の窓口業務をユースケースにそのあり方を検討する。 	
⑧ミライズ策定WG	<ul style="list-style-type: none"> 職員でなければできない企画立案業務や住民への直接的なサービス提供に注力できるようにするため、以下を検討（会議のあり方、チャットの利用促進、ABW、複業、人材バンク、ピアボーナス） 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度検討したテーマの継続（試行、具現化） WG参加者を公募制とし、取り組みの更なる加速 	④ミライズWG
⑨業務システム（予約システム）WG	<ul style="list-style-type: none"> 導入方針の決定（クラウドサービス利用、キャッシュレス・キーレスの段階的導入） その他整理（RFI、バックヤード側業務の整理、デモ実施、予算計上） 	<ul style="list-style-type: none"> 運用面の整理（意思決定、条例・規則、会計、監査等） RFPの実施、システム構築、運用テスト 実装及び中央公民館での先行運用開始 	⑤貸館予約システムWG
⑩業務システム（健康・福祉）WG	<ul style="list-style-type: none"> 費用対効果の課題等によりサービス導入に至らなかったため、既存ツールを活用し、コミュニケーション（対面、紙、電話、FAX）の効率化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 方針転換に伴い、本WGの活動を中止する。なお、議論の経過や検討プロセスにかかる一連の文書は整理し、保存する。 	
⑪官民データ活用WG	<ul style="list-style-type: none"> 市民公開型GIS（さーちずまえばし）の公開情報拡充検討 民間サイト（パークフル）を通じた市保有情報の公開 官民のデータを組み合わせ、交通安全対策にかかるEBPM試行 	<ul style="list-style-type: none"> 考え方の整理・体系化 試行→実運用のための制度設計 	⑥官民データ活用WG
⑫地域社会のDX推進WG	<ul style="list-style-type: none"> 地域での試行として、宮城地区で時層写真ワークショップ実施 一連の過程をまとめた「地域ワークショップ開催ガイド」を作成 	<ul style="list-style-type: none"> 「既存の行政サービスや地域社会のあり方をデジタル化された世の中に合った形に見直し、再構築する」新たなユースケースを設定し、試行 	⑦地域社会のDX推進WG
⑬デジタルデバイド解消WG	<ul style="list-style-type: none"> デジタルデバイド解消に向けて以下の事業を実施（自治会タブレット実証実験、民生委員向けスマホLINE講座、デジタルよろず相談所、介護予防サポーター等への研修会、各公民館でのスマホ講座等） 	<ul style="list-style-type: none"> NPO団体等と協力して、デジタルに詳しい市民の中からボランティアを募り、支援者（サポーター）として登録し、身近な場所でスマホ操作等を習える仕組み「まえばしデジタルサポーター」の構築 	⑧デジタルデバイド解消WG
DX推進員	<ul style="list-style-type: none"> 課相当の80所属から選出 chromebookの導入やMicrosoft365の活用に関する所属内とりまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> 実際の業務に適應させて実践を図るため、BPR推進WGで対応 	⑨内部統制のDX推進WG